

令和3年度「府民躍動 雇用応援★夢プラン（仮称）」本体会議

- 1 日 時 令和3年6月22日（火）15:30～17:00
- 2 場 所 WEB 会議
- 3 出席者 久本座長
奥野委員、小畑委員、中谷委員、原田委員、廣岡委員、宗田委員、
吉見委員（五十音順）オブザーバー：宮田氏、岡田氏（以上 10
名）
- 4 概 要

【論点①今後4年間の雇用計画に盛り込むべき事項について】

- ・ 少子高齢化に伴う人材不足の中で、女性、高齢者、若者、外国人等の多様な人材を活かしていくこと。北部地域の人材不足は特に深刻
- ・ 4年間の計画期間中の社会状況の変化に応じた支援
- ・ 失業無き労働移動との考え方で、リカレント教育や職場内教育等、教育の機会の重要性
- ・ 古い価値観の変革。20代30代の若者の意見を聞くこと。
- ・ 多様な正社員制度、充実した契約社員制度を考えるべき。
- ・ 不本意非正規雇用の正規雇用化
- ・ 副業、兼業等、中小事業者、大企業に関係なく労働力の有効活用

【論点②雇用のセーフティネットについて】

- ・ 誰もが資格取得やスキルチェンジができる教育や職業訓練が大事
- ・ デジタル化による格差の拡大に対する対策
- ・ 障害者とその保護者に対するキャリア教育と、障害者に仕事の機会を作っていく。その両輪を回すような施策が必要。障害者のインターンシップ
- ・ 福祉の分野との連携が不可欠。リカレント教育や再教育を、色々なリソースとうまく連携しながら、事業を行うこと。
- ・ 正社員対非正規雇用の構図ではなく、短時間正社員等、多様な働き方に留意すべき。
- ・ ひとり親家庭の雇用推進
- ・ 不本意非正規雇用で働く人を減らすこと。

【論点③学生をはじめとする若者対策について】

- ・ 高校における職業教育、キャリア教育と産業政策の整合をとる必要がある。
- ・ 義務教育からのキャリア教育が必要
- ・ 大学低回生からのインターンシップ。就労が単位となり、かつ就職したときに奨学金の一部免除につながるような制度づくり
- ・ 学生と北部地域の企業との出会いの場の創出
- ・ 企業のオープンキャンパス
- ・ 卒業して3年間の内に離職した者の支援の充実。中卒、高卒、大卒と見ていくよりも、企業規模や業種の問題が非常に大きい。
- ・ キャリア教育の転換。実際に企業に入ってみないと分からないことが多く、もっと学生と企業の対話や高校生、中学生、小学生も含めた対話が必要。
- ・ オンラインにより、距離や時間を超えて、創業者と学生達と生の声を交換しあう。

